

三宅さんは、入学してきた一年生に、家庭学習を進めるためのコツについて話をすることになりました。次は、三宅さんが伝えたいことを書いたふせんと実際に話した内容です。メモの内容を踏まえてあとの問いに答えなさい。

ふせん①

○学習内容をノートにまとめなおす。

- ・自分の言葉でまとめなおすと身に付きやすい。
→特に数学では解き方を振り返ることができる。

ふせん②

○無理のない計画を立て必ず実行する。

- ・学習習慣が定着する。
→コツコツと積み重ねることで確実に身に付く。

ふせん③

○ワークブックや問題集に少しずつ取り組む。

- ・まとめてやろうとすると学んだことを忘れてしまっていた。
→学んだその日のうちに

ふせん④

○集中できる環境を整える。

- ・教材やノートを整理し、他のことが気にならないようにする。
→時計の位置や文房具を置く場所も重要

ふせん⑤

○英単語や漢字は文章の中で使って覚える。

- ・実際に使う場面を想定する。
→覚えられる忘れにくい

ふせん⑥

○得意な分野を伸ばし、苦手をそのままにしない。

- ・応用問題に取り組んでさらに力を伸ばす。
・「わからない」や「苦手」が見付いたら質問をする。
→先生でも友達でもOK

【三宅さんが実際に話した内容】

一年生の皆さん、こんにちは。三年生の三宅です。今日は、私が考える家庭学習のコツについて三点お伝えします。

一点目は、授業で学んだことを、ノートをもとにまとめなおすことです。学んだことを自分の言葉でまとめなおすことで、特に数学では解き方を振り返ることができ、身に付きやすくなります。

二点目は、教科ごとに使っているワークブック、問題集などに少しずつ取り組むことです。後でまとめてやろうとすると、学んだことが分からなくなることがありました。学んだ後、その日のうちに取り組むことで、身に付くことが多いと思います。

三点目は、英単語や漢字を、文章の中で活用しながら覚えるということです。日常生活の中で実際に使う場面を想定しながら記憶することで、覚えやすく忘れにくい印象があります。

以上が私の考える家庭学習のコツです。今回は

a

と考えたのでこの三点を紹介しました。他にも、自分に合った家庭学習のコツがあると思いますのでぜひ身近な先輩や友達に尋ねてみてください。

問一 三宅さんはどのふせんの内容を用いて話をしましたか。次の中から二つ選びなさい。

- ア ふせん①
- イ ふせん②
- ウ ふせん③
- エ ふせん④
- オ ふせん⑤
- カ ふせん⑥

問二

a

には三宅さんが問一のふせんを選んで話をした意図が入ります。次の中から一つ選びなさい。

- ア 学ぶ習慣の大切さについて伝えたい
- イ 学習環境の整え方について伝えたい
- ウ 具体的な学習内容や方法を伝えたい
- エ 学習意欲を高く保つ方法を伝えたい

問三 三宅さんに続いてあなたが一年生に向けて家庭学習について話をする事になりました。三宅さんの話と重複しないことを意識しながら、ふせんを三つ用いて発表用の原稿を書きましょう。原稿を書く際には三宅さんの話の展開を参考にし、話し手としての意図が伝わるようにしましょう。

一年生の皆さん、こんにちは。

問一

ア・ウ・オ

問二

ウ

問三

一年生の皆さん、こんにちは。私が考える家庭学習のコツについて三点お伝えします。

一点目は、集中できる環境を整えて学習することです。机の上に教材やノートが散乱していると気になってしまつてうまく学習が進みません。時計の位置や文房具を置く場所も決まつていとすっきりとした環境となり集中力が増します。

二点目は、無理のない計画を立て、そしてその計画を必ず実行することです。無理な計画を立てると結局最後まで取り組むことができず習慣化につながりません。学習習慣を定着させるためには、コツコツと積み重ねることが大切です。

三点目は、得意は伸ばし、苦手はそのままにしないことです。得意な分野では応用問題などに取り組む機会を増やしてさらに力を伸ばしていきましょう。苦手な分野は、先生や友達に積極的に質問をして苦手意識を減らすことが大切です。「できた」「わかった」と思えることで、学習意欲が継続します。

以上が私の考える家庭学習のコツです。今回は学習環境や習慣、意欲について伝えたいと考えたのでこの三点を紹介しました。他にも、自分に合った家庭学習のコツがあると思いますのでぜひ身近な先輩や友達に尋ねてみてください。

《評価のポイント》

◎ イ・エ・カのふせんを用いて、序論・本論(二つの内容)・結論の構成で書くことができる。

△ ア・ウ・オも含む三つのふせんを用いて、序論・本論(二つの内容)・結論の構成で書くことができている。